

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年8月13日

【四半期会計期間】 第56期第2四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 高橋カーテンウォール工業株式会社

【英訳名】 TAKAHASHI CURTAIN WALL CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高橋 武治

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 市川 尚

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

【電話番号】 (03)3271 1711(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理部長 市川 尚

【縦覧に供する場所】 高橋カーテンウォール工業株式会社大阪支店
(大阪府大阪市北区中之島3丁目2番18号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第55期 第2四半期 連結累計期間	第56期 第2四半期 連結累計期間	第55期
会計期間		自 2019年1月1日 至 2019年6月30日	自 2020年1月1日 至 2020年6月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高	(千円)	8,822,328	3,022,161	16,765,720
経常利益	(千円)	1,353,344	346,754	2,605,662
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	879,045	369,411	1,242,595
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	882,089	359,092	1,246,894
純資産額	(千円)	8,762,228	9,200,655	8,996,005
総資産額	(千円)	16,126,617	12,908,696	14,569,779
1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)	100.63	42.41	142.25
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)	54.3	71.3	61.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	382,527	280,637	2,890,496
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	206,260	98,796	396,480
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	334,617	425,450	212,701
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	506,930	2,141,710	2,946,595

回次		第55期 第2四半期 連結会計期間	第56期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	86.44	3.62

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社企業グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社企業グループが判断したものであります。

なお、新型コロナウイルス感染症が建設業界に本格的に影響を与える時期は、飲食やインバウンド関連に比べて数年遅くなることが予想されており、現時点では当社の業績にはさほど影響を与えておりません。しかし、長期的には景気の低迷が建設需要を下押しすることはほぼ確実と認識しております。また、東京五輪が1年延期されたことで、五輪後に計画されていたプロジェクトの始動が遅れる可能性があること、テレワーク普及に伴いオフィスビル需要の低下の可能性があることが懸念されております。これらはカーテンウォール業界、プール業界双方にマイナスの影響があることが予想されております。

マイナス要因は多くありますが、安定した財務基盤のある当社は、従来と変わらず着実に人員強化を進め、景気が再び浮揚する際は、顧客からのリクエストにさらに幅広く対応できるような態勢をつくれるように努力を重ねる所存であります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における日本の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、大幅に下押しされており厳しい状況で推移しました。企業収益や生産活動等の面で弱含みの傾向がみられており、感染症拡大に伴う影響等により今後とも内外経済の動向は先行き不透明な状況となっております。

このような状況の下、当建設業界におきましては、さまざまな業種で、仕事量が減少してきました。

PCカーテンウォール業界においても、昨年からの受注量、生産量ともに低迷が続いております。（8月から生産量が回復する見込みであります。）

プールを手掛けるアクア事業では、主力である学校やスポーツクラブに加え、PCカーテンウォール事業で関わった都市型高級ホテルのプール等の工事拡大を図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社企業グループの業績は売上高は30億22百万円（前年同四半期比65.7%減）、営業利益3億25百万円（前年同四半期比75.0%減）、経常利益3億46百万円（前年同四半期比74.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億69百万円（前年同四半期比58.0%減）となりました。なお、受注高は43億89百万円（前年同四半期比9.8%増）、受注残高は125億74百万円（前連結会計年度末比12.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

PCカーテンウォール事業

昨年からの受注量、生産量ともに低迷が続いており、比例して売上が大幅に落ち込みました。一方、顧客の製品形状変更、追加依頼などに真摯に対応して、追加売上を獲得し、また工場を中心に懸命のコストダウンを図り、収益を確保しています。

当セグメントの売上高は26億85百万円（前年同四半期比68.8%減）、セグメント利益は2億91百万円（前年同四半期比77.8%減）となりました。なお、売上のトレンドに季節性はありません。

アクア事業

学校関連、フィットネスクラブ及びホテルのプールの新設・改修が順調に進んだため、当セグメントの売上高は3億2百万円（前年同四半期比61.9%増）、セグメント利益は34百万円（前年同四半期は1百万円のセグメント利益）となりました。

その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業（不動産賃貸事業を含む）であります。

当セグメントの売上高は33百万円（前年同四半期比24.2%増）、セグメント損失は0百万円（前年同四半期は8百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態の状況

資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は129億8百万円と前連結会計年度末と比較して16億61百万円の減少となりました。これは主に、現金預金が8億4百万円及び受取手形・完成工事未収入金等が10億26百万円減少したことによるものであります。

負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は37億8百万円と前連結会計年度末と比較して18億65百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が8億79百万円及び長期借入金が1億60百万円、役員退職慰労引当金が6億77百万円減少したことによるものであります。

純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は92億円と前連結会計年度末と比較して2億4百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により3億69百万円増加したこと、配当金の支払いにより1億31百万円減少したことにより2億38百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期と比較して16億34百万円増加して21億41百万円(前年同四半期比322.5%増)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に、法人税等の支払額8億83百万円、未成工事支出金の増加額7億38百万円、役員退職慰労引当金の減少額6億77百万円及び売上債権の減少額17億37百万円により2億80百万円の資金減少(前年同四半期は3億82百万円の資金増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に有形固定資産の取得による支出1億31百万円、貸付けによる支出1億円及び貸付金の回収による収入1億4百万円により98百万円の資金減少(前年同四半期は2億6百万円の資金減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に長期借入金の返済による支出2億40百万円、配当金の支払額1億30百万円により4億25百万円の資金減少(前年同四半期は3億34百万円の資金減少)となりました。

(4) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

特記事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,500,000
計	36,500,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,553,011	9,553,011	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,553,011	9,553,011		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年6月30日		9,553,011		100,000		

(5) 【大株主の状況】

2020年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に対 する所有株式数 の割合(%)
高橋 武 治	東京都品川区	1,533	17.66
高橋 敏 男	東京都港区	1,011	11.64
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	615	7.09
岩崎 陽 子	東京都世田谷区	473	5.45
高橋 宗 敏	東京都港区	421	4.85
高橋 亜 紀 子	東京都港区	410	4.73
高橋 雅 代	東京都世田谷区	235	2.71
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC (常任代理人 株式会社三菱UFJ 銀行)	7 OLD PARK LANE, LONDON, W1K 1QR (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	155	1.78
昭和化学工業株式会社	東京都港区赤坂2丁目14-32号	134	1.54
高橋 幸 子	東京都港区	132	1.52
計		5,122	59.01

(注) 上記のほか当社所有の自己株式872千株があります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 872,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,676,100	86,761	
単元未満株式	普通株式 4,811		
発行済株式総数	9,553,011		
総株主の議決権		86,761	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式15株が含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 高橋カーテンウォール 工業株式会社	東京都中央区日本橋 本町1丁目5番4号	872,100		872,100	9.12
計		872,100		872,100	9.12

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、八重洲監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,946,595	2,141,710
受取手形・完成工事未収入金等	1,491,222	464,941
電子記録債権	1,696,136	985,264
未成工事支出金	3,055,588	3,794,554
その他のたな卸資産	1 70,640	1 76,685
その他	59,881	150,356
流動資産合計	9,320,065	7,613,513
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	653,439	659,184
土地	1,783,101	1,783,101
その他(純額)	644,301	643,052
有形固定資産合計	3,080,842	3,085,338
無形固定資産	42,078	38,590
投資その他の資産		
投資有価証券	222,552	207,786
保険積立金	949,176	1,013,418
投資不動産(純額)	118,624	91,464
退職給付に係る資産	114,016	105,175
その他	738,990	769,976
貸倒引当金	16,567	16,567
投資その他の資産合計	2,126,792	2,171,253
固定資産合計	5,249,713	5,295,183
資産合計	14,569,779	12,908,696
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	466,576	527,535
電子記録債務	368,532	276,588
短期借入金	667,000	587,000
1年内償還予定の社債	60,000	30,000
未払法人税等	883,174	3,744
未成工事受入金	779,921	1,271,067
賞与引当金	53,044	46,614
その他の引当金	92,360	17,440
その他	620,312	203,486
流動負債合計	3,990,921	2,963,475
固定負債		
長期借入金	630,000	470,000
役員退職慰労引当金	869,525	192,391
その他	83,326	82,174
固定負債合計	1,582,851	744,565
負債合計	5,573,773	3,708,040

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	5,803,679	6,042,063
自己株式	238,430	261,845
株主資本合計	8,948,612	9,163,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,393	37,074
その他の包括利益累計額合計	47,393	37,074
純資産合計	8,996,005	9,200,655
負債純資産合計	14,569,779	12,908,696

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高		
完成工事高	8,822,328	3,022,161
売上原価		
完成工事原価	7,133,777	2,301,673
売上総利益		
完成工事総利益	1,688,550	720,488
販売費及び一般管理費	1 385,661	1 395,279
営業利益	1,302,889	325,208
営業外収益		
受取利息	231	244
受取配当金	1,948	1,707
投資有価証券売却益	6,644	-
投資不動産賃貸料	2,801	6,257
受取家賃	6,999	5,706
鉄屑売却収入	27,444	10,529
その他	12,861	6,091
営業外収益合計	58,931	30,537
営業外費用		
支払利息	4,668	3,687
不動産賃貸費用	1,428	3,137
その他	2,379	2,165
営業外費用合計	8,476	8,991
経常利益	1,353,344	346,754
特別利益		
固定資産売却益	-	1,771
特別利益合計	-	1,771
特別損失		
固定資産除却損	1,241	4,037
特別損失合計	1,241	4,037
税金等調整前四半期純利益	1,352,102	344,488
法人税、住民税及び事業税	499,931	3,688
法人税等調整額	26,873	28,612
法人税等合計	473,057	24,923
四半期純利益	879,045	369,411
親会社株主に帰属する四半期純利益	879,045	369,411

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	879,045	369,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,044	10,318
その他の包括利益合計	3,044	10,318
四半期包括利益	882,089	359,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	882,089	359,092

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,352,102	344,488
減価償却費	124,469	129,581
固定資産売却損益(は益)	-	1,771
固定資産除却損	159	2,037
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	8,029	677,134
引当金の増減額(は減少)	6,888	81,350
退職給付に係る資産の増減額(は増加)	5,181	8,840
受取利息及び受取配当金	2,180	1,951
投資有価証券売却損益(は益)	6,644	-
支払利息	4,668	3,687
売上債権の増減額(は増加)	3,243,594	1,737,152
未成工事支出金の増減額(は増加)	1,211,355	738,966
その他のたな卸資産の増減額(は増加)	15,677	6,044
保険積立金の増減額(は増加)	15,524	64,241
その他の資産の増減額(は増加)	284,426	92,465
仕入債務の増減額(は減少)	345,392	30,984
未成工事受入金の増減額(は減少)	251,151	491,145
その他の負債の増減額(は減少)	282,684	417,263
小計	600,104	604,760
利息及び配当金の受取額	2,367	2,131
利息の支払額	4,981	4,149
法人税等の支払額	214,962	883,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	382,527	280,637
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	206,175	131,736
有形固定資産の売却による収入	0	-
投資有価証券の取得による支出	83,269	-
投資有価証券の売却による収入	82,967	-
投資不動産の売却による収入	-	28,689
貸付けによる支出	1,000	100,000
貸付金の回収による収入	4,598	104,850
その他	3,382	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	206,260	98,796

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	196,000	240,000
社債の償還による支出	50,000	30,000
建設協力金の返済による支出	1,260	1,260
自己株式の取得による支出	-	23,414
配当金の支払額	87,357	130,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	334,617	425,450
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	158,350	804,884
現金及び現金同等物の期首残高	665,280	2,946,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 506,930	1 2,141,710

【注記事項】

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	
(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)	
当社企業グループは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについては、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。	
新型コロナウイルス感染症拡大が当社企業グループの業績に与える影響は軽微であり、当第2四半期以降も重要な影響がないという仮定に基づき会計上の見積りを行っております。	
しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は、不確定要素が多く、今後の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。	

(四半期連結貸借対照表関係)

1. その他のたな卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
材料貯蔵品	70,640千円	76,685千円

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
従業員給料手当	129,106千円	145,843千円
賞与引当金繰入額	14,255	15,267
退職給付費用	893	5,022
役員退職慰労引当金繰入額	11,030	9,117

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
現金預金	506,930千円	2,141,710千円
預入期間が3か月超の定期預金		
現金及び現金同等物	506,930千円	2,141,710千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	87,351	10.00	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年7月25日 取締役会	普通株式	131,027	15.00	2019年6月30日	2019年9月9日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月27日 定時株主総会	普通株式	131,027	15.00	2019年12月31日	2020年3月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年7月30日 取締役会	普通株式	86,808	10.00	2020年6月30日	2020年9月7日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,608,400	187,041	8,795,441	26,887	8,822,328		8,822,328
セグメント間の内部売上高 又は振替高							
計	8,608,400	187,041	8,795,441	26,887	8,822,328		8,822,328
セグメント利益又はセグメント損失()	1,308,960	1,989	1,310,950	8,061	1,302,889		1,302,889

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,685,858	302,896	2,988,755	33,406	3,022,161		3,022,161
セグメント間の内部売上高 又は振替高							
計	2,685,858	302,896	2,988,755	33,406	3,022,161		3,022,161
セグメント利益又はセグメント損失()	291,152	34,261	325,414	206	325,208		325,208

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益	100円63銭	42円41銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	879,045	369,411
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	879,045	369,411
普通株式の期中平均株式数(株)	8,735,197	8,710,140

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第56期(2020年1月1日から2020年12月31日まで)中間配当について、2020年7月30日開催の取締役会において、2020年6月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	86,808千円
1株当たりの金額	10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年9月7日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月12日

高橋カーテンウォール工業株式会社

取締役会 御中

八重洲監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 齋 藤 勉 印

業務執行社員 公認会計士 山 田 英 二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高橋カーテンウォール工業株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高橋カーテンウォール工業株式会社及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。